

対象	中学校 2 学年以上
教科	国語科
該当 単元	中学 2 年 「多様な視点から」 ・メディアと上手に 付き合うために
教科書	光村図書等
掲載日	2018. 3. 13. 朝刊 岐阜総合版 福井中日版

Aの記事→

緑内障週間で緑色にライトアップされた岐阜城 岐阜市で



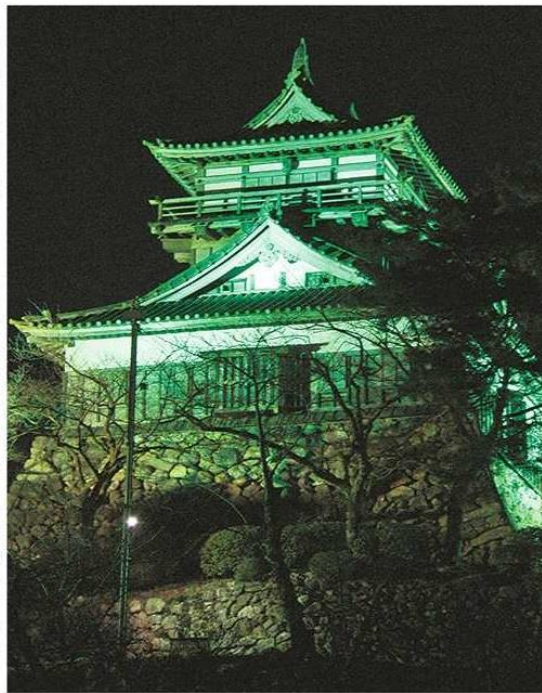
Bの記事↓

# 緑の丸岡城 早期発見訴え

世界緑内障週間（十一～十七日）に合わせ、坂井市のシンボル丸岡城が緑色にライトアップされた。十七日までの日没から午後十時まで点灯し、眼科検診による緑内障の早期発見や継続治療の必要性を訴える。

## 世界緑内障週間

日本緑内障学会によ  
広がった。  
(中田誠司)



世界緑内障週間に合わせ緑色のライトで浮かび上がる丸岡城 坂井市丸岡町で

緑に染まる岐阜城  
世界緑内障週間（十一～十七日）に合わせ、岐阜市の岐阜城が期的な目の検診を促す十二日、緑色にライトアップされた。十八日まで、午後六～十一時 銘打って企画。全国の

緑内障週間でライトアップ  
観光名所など約七カ所を、緑色に染める。岐阜城での実施は、昨年続き二回目。学会によると、緑内障は日本人の中途失明の原因で最多となつて  
いるが、早期に発見して治療すれば、失明の危険は大幅に減るとい  
う。  
県内では十二～十七日の日没後、多治見市役所駅北庁舎と美濃病院（美濃市）もライトアップされる。  
(近藤統義)

問1：記事を読み比べると「伝える情報の中心」に違いがあることに気づくでしょう。①と②はそれぞれどちらの記事でしょう。

- ①世界緑内障週間の意味や予防の大切さが中心になっている( )
- ②ライトアップ in グリーン運動の紹介が中心になっている( )

問2：緑内障について2つの記事が呼びかけていることは何でしょう。( )

問3：2つの記事を細かく見ていくと、同じ事を言っているのに使っている言葉が違う部分があります。それは何でしょう。

( )と( )

## 【活用にあたって】

小学校5年生で記事比較を学習します。ですからその学習に活用していただいてもよいと思います。

ただ、中学2年生の教科書には「記者がどこに注目して取材するかで記事の内容は大きく変わってきますし・・・」という記述がみられます。その点で今回は中学2年生以上を対象とさせていただきます。

この単元の目標は「さまざまなメディアの特徴を知り、適切な情報を選んで活用する」というものです。教科書にはメディアそれぞれのよさが記され目的に応じた選択ができるようにとあります。しかし機会をとらえて実際に体験することがないと、その力を十分に養えないように思います。

このワークシートで、同じ新聞社で同じ内容の記事であっても記者によって伝えようとするものが違ってくることが分かり、適切な情報選択の重要性が学べればよいと思います。

### 解答例

問1：           ① Bの記事                           ② Aの記事

問2： 早期に（発見して）治療すれば、失明の危険は大幅に減る

問3：（最多）と（1位）                           ※逆でも可